

六甲山地の土砂災害とその対策について説明を行いました

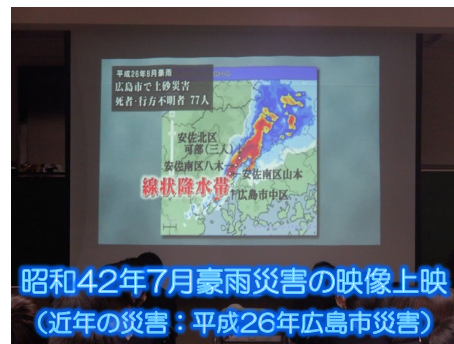
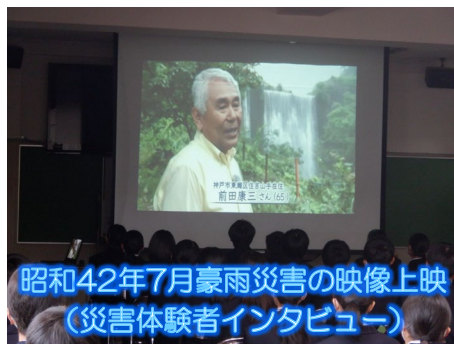
～神戸市立烏帽子中学校^{えぼし}トライやる・ウィーク～

～六甲砂防事務所～

体験を通して子どもたちが自ら体得する場や機会を提供し、児童生徒一人一人が自分の生き方を見つけるよう支援することを目的とした「トライやる・ウィーク」の一環として、神戸市立烏帽子中学校^{えぼし}2年生を対象に、六甲山地で発生した土砂災害やその対策について土石流模型実験映像等を用いて説明しました。

概要

日 時：令和3年12月16日（木） 13:35～14:35
 場 所：神戸市立烏帽子中学校^{えぼし}
 参加人数：2年生3クラス：100名
 実施内容：■事業概要説明
 ■昭和42年7月豪雨災害の映像上映
 ■土石流模型実験映像上映



生徒の皆さんから『土石流の映像やそれを経験した人のインタビューが印象に残っています。時速30キロほどで流れてくると聞いて実感がわきませんでした。映像を見ると一瞬で泥や大きな石が流れてきて、逃げられる状況じゃないと思いました』『砂防堰堤は土石流を下流に流れることを防ぐだけだと思っていましたが、土砂を調節する役割があることを初めて知りました』との感想をいただきました。

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
 六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052
 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
 TEL：078-851-0535

